



2018 | 4代目ジムニー【JB64】

スクエアなデザインに原点回帰 唯一無二の軽オフローダー

ラダーフレーム構造を踏襲するが改良され、ねじり剛性が1.5倍に向上。エンジンは専用チューンのR06A型に換装された。3代目から一転、ジムニーの伝統を踏襲するスクエアなスタイルに改められ、凹凸の少ないボディは機能美を感じさせる。

XC (4速AT) ●全長×全幅×全高:3395×1475×1725mm●ホイールベース:2250mm●車両重量:1040kg
●エンジン型式:R06A型●エンジンタイプ:直3DOHCターボ●排気量:658cc●最高出力:64ps/6000rpm●
最大トルク:9.8kg-m/3500rpm●サスペンション(前/後):3リンクリジッド式コイル/3リンクリジッド式コイル●ブレーキ(前/後):ディスク/リーディングトレーリング●タイヤサイズ:175/80R16



2018 ジムニー シエラ【JB74】

先代シエラより全長が50mm短く、全幅は45mm拡大。ジムニーをベースに、無塗装の樹脂製オーバーフェンダーやサイドアンダーガーニッシュなどが装着され、力強い雰囲気演出。エンジンは新開発となるK15B型1.5ℓを搭載している。

初代ジムニーは11年、2代目ジムニーは17年と極めてモデルチェンジサイクルが長い。だがその間、こまめに、本当に幾度となく改良が加えられることも、ズスキというメーカーの特徴だ。小まわりの利く自動車メーカーだからこそ可能だったと言える。

3代目ジムニーはある意味、外圧によって生まれた。それは軽自動車

の規格変更だ。衝突安全性に対応するにはボディが小さすぎるという理由から、1998年に軽自動車は新規格となり、わずかにサイズが拡大されたのだ。サイズアップした3代目ジムニーは、ラダーフレーム構造などジムニーの伝統を継承しつつ、2代目とは打って変わって丸みを帯びたデザインが採用された。これまた幾度となく改良を繰り返しながら、なんと20年間にわたって愛され続けた。

そして2018年、4代目ジムニーが登場。2代目のようなスクエアなスタイルを採用し、爽快とデビューを飾った。同時にジムニーシエラもデビュー。さらに2025年、初の5ドア、ジムニーノマドも登場。ジムニーファミリーは、これからも世界中で愛されていくことだろう。

2代目とは打って変わって丸みを帯びたデザインが採用された。これまた幾度となく改良を繰り返しながら、なんと20年間にわたって愛され続けた。

4代目モデルの変遷

+++

- 2018年 7月 ●4代目ジムニー (JB64-1型) & ジムニーシエラ (JB74-1型) 発売
スクエアな外観デザインに一新。剛性を高めた新開発ラダーフレームに加え、副変速機付きパートタイム4WDや3リンクリジッドアクスルなど伝統を踏襲。「ズスキセーフティサポート」を搭載し安全面も進化
- 2021年 9月 ●JB64-2型ジムニー、JB74-2型ジムニーシエラ
ズスキセーフティサポート非装着車にオートライトシステムを搭載。4速AT車に停車時アイドリングストップシステム追加
- 2022年 7月 ●JB64-3型ジムニー、JB74-3型ジムニーシエラ
5速MT車にアイドリングストップシステムを追加。それにとまない、インパネスイッチのレイアウト変更
- 2024年 4月 ●JB64-4型ジムニー、JB74-4型ジムニーシエラ
法規対応にともなう一部仕様変更。メーカー希望小売価格、メーカーオプション価格の改定
- 2025年 1月 ●ジムニーノマド (JC74型) 登場

かつて存在したジムニーのライバル

長らく軽クロカン4WDはジムニーの独壇場となっていた。だが1994年には三菱パジェロミニ、1998年にはダイハツのテリオスキッドが登場。パジェロジュニア、テリオスという登録車仕様があったこともジムニーと同様だった。ただし、どちらも内容的には本格派とは言いがたかった。



1994
三菱パジェロミニ



1998
ダイハツ
テリオスキッド